

乳がんイベント初開催

大分 14日、ピンクリボン・デー



イベントのポスターを持ってPRする
中澤代表

啓発団体が参加呼びかけ

10月は乳がん月間。大分市の乳がん啓発団体「ピンククロス大分」(中澤有里代表)が14日、同市で乳がんの啓発イベント「ピンクリボン・デー in 大分Vol.1」を初めて開催する。中澤さん自身もかつて乳がんを発症しており、「1人でも多くの人に乳がんについて知ってもらいたい」と参加を呼びかけている。【佐野格】

医師である中澤さんで乳がんを発症。左胸「のための抗がん剤と放
は2008年春、33歳を全摘出し、再発防止 射線治療で、髪は抜け

落ち、むせび泣く日もあった。それでも家族らの支えを受け、つらい日々を乗り越えることができた。

昨年10月、「自分のような悲しみを誰にもしてほしくない」と医療関係の友人らと団体を設立した。

乳がんになる割合は30代から増加し、45歳ごろがピークとされる。「子どもの世話、親の介護など自分のことが後回しになりがちな世代で、検診を先延ばしにしてしまう。私もそうだった」と振り返る。イベントでは女性に楽しみながら参加してもらおうと、乳がんについてのパネル展

示や乳房の模型による「しこり」体験に加え、アロママッサージュやパソナルカラー診断なども無料で楽しめる。

中澤さんは「1回で終わらせるのではなく、毎年続けていきたい。乳がんの検診に興味を持ってもらい、大分の女性が皆、健康で笑顔になってもらえたら」と話している。

イベントは14日午前11時〜午後4時、同市公園通り西のOABパークプレイス住宅展示場スムスムで、詳細は濱田皮膚科医院097・521・4144。